

イノベーションで世界を救う、持続可能な創発プラットフォーム

Humanitarian Innovation Forum Japan 2016

参加費
無料

日時 2016年3月13日(日)
10:00~17:30
(意見交換会 18:00~20:00)

場所 東北学院大学
土樋キャンパス 8号館
押川記念ホール 仙台市青葉区土樋1-3-1

対象 NGO・NPO、企業・団体、
大学、国際機関など

主催 ジャパン・プラットフォーム(JPF)、国際協力NGOセンター(JANIC)、
防災・減災日本ネットワーク(JCC-DRR)、東北学院大学、外務省

協力 国連人道問題調整事務所(OCHA)、支援の質とアカウンタビリティ向上
ネットワーク(JOAN)、プライスウォーターハウスクーパース株式会社、
みやぎ連携復興センター [調整中: JICA、仙台市、グローバル・コン
パクト・ネットワーク・ジャパン]

事務局 人道支援イノベーション協働準備会
JPHIL: Japan Partnership for Humanitarian Innovation Leaders (JPF、JANIC、JCC-DRRで構成)

申込 <http://goo.gl/forms/ZXERBRUpzu> ※ただし、定員100名に達した時点で
申込締切: 2016年2月29日(月)まで 受付を終了させていただきます。



紛争による難民、また災害の避難民
として住居を追われている人の数

約6,000万人

平均避難年数

約17年

自然災害による影響を受ける人の数

年間約2億人

自然災害による経済的損失額

年間約36兆円

皆さまの技術とアイデアを世界のために

災害・難民支援、医療・衛生分野、開発・環境分野など、国際的な人道的支援の緊急性がかつてないほどに高まり、既存の手法のみでは、増え続ける問題に追いつくことはもはや不可能です。本年5月にトルコ・イスタンブールで開催される世界人道サミットにおいても、イノベーションによる人道支援改革が重要課題となります。

しかし、これまでは、新たな手法を生み出すにしても、現場で活動している人道支援の実践者と、技術やアイデアを持つ企業が協働できる場は少なく、世界を大きく変えるはずのイノベーションの可能性が、必要とする人々に届かないままになっているのが現状です。

私たちは今、人道支援にイノベーションをもたらし、世界を変えるための持続的なプラットフォームづくりを始めます。そしてその実現のためには、支援実践者はもちろん、企業や大学、政府、国際機関といったすべてのアクターの協力が必要なのです。

特に日本は、人道支援に携わる数多くの国の中で中心的役割を果たすことが期待されています。なかでも東北地方は、日本中・世界中からの支援も受け、今まさに新たな試みによって、震災からの復興に取り組んでいます。その経験は世界にとって重要な教訓となるはずです。

参加とご協力をお待ちしています。



様々な皆さまの参加をお待ちしています

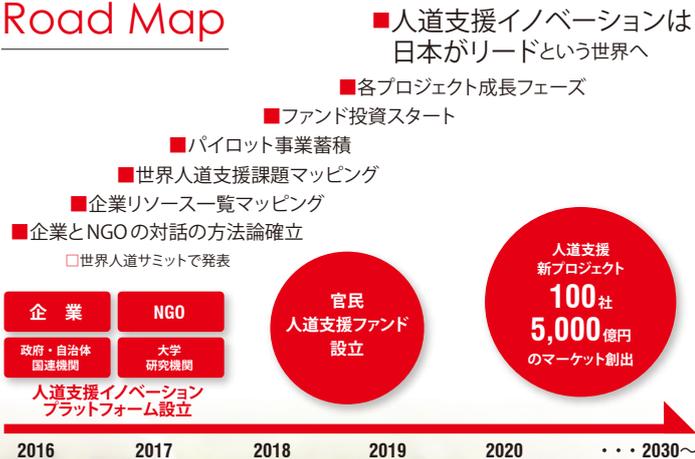
例えば企業の、社会に価値をもたらすサービスの開発や業務の改善に取り組む力は人道支援にも有効です。

Creating Shared Value (CSV) の考えのもと、持続可能な枠組みづくりを目指します。

フォーラムの目的

- 「人道支援の場に持続的にイノベーションを生み出す方法論」についての仮説づくりと検証を実施します。
- 企業や大学などが持つソリューションを活用して人道支援にイノベーションをもたらします。
- フォーラムの成果は2016年5月にイスタンブールで開催される第1回世界人道サミットにおいて「イノベーションによる人道支援改革」に関する日本での事例として発表します。

Road Map



Model



取扱う課題

防災・減災

水・公衆衛生

災害後のビルドバックベター
(より良い復興)

プロテクション
(人道保護)

プログラム

■ 午前の部：10:00-11:30

1. 主催者挨拶・プログラムの説明
2. 基調講演
3. これまでの事例プレゼンテーション(企業/NGOより)
4. 問題テーマ説明

■ 午後の部：12:30-17:30

5. グループワーク①：イノベーション考案
グループワーク②：方法論レビュー
6. グループ発表
7. クロージング・閉会挨拶

■ 意見交換会(任意参加：要事前登録)：18:00-20:00

お問い合わせ

人道支援イノベーション協働準備会
JPHIL: Japan Partnership for Humanitarian Innovatiou Leaders

特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム内(担当:平野)
〒102-0083 東京都千代田区麹町3-6-5 麹町GN安田ビル4階
TEL: 03-6261-4750 FAX: 03-6261-4753 E-mail: communication@japanplatform.org